

あ い あ い

2021年 12月

対象：0歳～6歳（未就園児）もしくは出産前のご家庭

—みなさんの子育てを応援しています—

舞い散る落ち葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じられる頃となりました。気が付くと、今年も残りひと月ですね。本来ならば稲荷砂川保育園で毎日開催しています「あいいいひろば」は、新型コロナウイルス感染防止のため、お休みをさせて頂いております。来年はぜひ、皆さんにお会いできる機会が増えることを願っております。

先月もお知らせしましたが、11月から園舎の建て替え工事が始まり、仮園舎へ引っ越しをしました。引き続き、困ったことや相談したいことがありましたら、いつでも下記に記載の電話番号へお気軽にご連絡ください。1年間、ありがとうございました。来年も、よろしく願いいたします。

子育てワンポイント！

～トイレトレーニング、こんな姿があった時にどう対応していますか？～



そろそろトイレトレーニングを考えているお子さんで、お風呂の前後や最中、着脱の時等、オムツを脱いでいるタイミングで“尿が出る”という経験のある方がいらっしゃるかと思います。「どうして今！？」と、慌てて綺麗に拭くことに気持ちが向いてしまうところですが…トイレトレーニングでは、「おしっこが出た！」と排尿の存在に気付くことができる絶好のチャンスだったりします！

親の立場だと、つい慌てて困った表情を見せてしまったり、マイナスな声かけをしてしまったり、してしまうところですが、子どもの立場になってみると、“排尿すること＝ネガティブなこと”だと伝わってしまう可能性があります。そのため、尿が出た時は、「おしっこでたね！」と尿が出たという感覚に気付ける声掛けをしたり、「おしっこはトイレですと気持ちいいよ！」とトイレを見せたり、トイレで排尿をするということを知るきっかけへと繋げてみましょう。

とは言え、親子共に初めての経験で慌ててしまうこともあるかと思います。その場合は慌ててしまったとしても、落ち着いた時に「さっきはびっくりしたね。でも、おしっこが出ることはいいことだよ。」と尿が出ることがネガティブなことではないことをぜひ伝えてみてください。

また、いつも同じようなタイミングで尿が出ているなど感じた時には、そのタイミングを見計らいトイレに誘ってみるのもいいかもしれませんね。

このように、思わぬタイミングで尿が出てしまったときには、ぜひ“トイレトレーニングのチャンス！”とポジティブに捉えてかかわっていただき、お子さんにとって排尿を知る良いきっかけになってくれることを願っています。

社会福祉法人稲荷保育園

稲荷砂川保育園

〒612-0011

京都市伏見区深草鈴塚町13番地

京都市立伏見工業高等学校食堂

TEL 075-748-8733

★あいいい通信は稲荷砂川保育園のホームページ

<https://inasunahoikuen.jp/>の「地域子育て支援」のページにも掲載されています。

